

Case 10

アパレル企業との共同プロジェクト 斬新なアイデアで新規の学校用体操着を提案



◀ 市販の体操着をサンプルに意見交換

Step 1

スポーツウェアを中心とした衣料品の開発・製造を手掛ける株式会社レイバンでは、学校用体操着は、機能的にもデザインのにもまだまだ改良の余地があると考えています。しかし、学校用体操着は学校という限られた市場で販売されるため、デザインも機能も保守的で画一的なものが多く革新的な商品が生まれにくいという背景があります。



Step 2

そこで、本学のファッションテキスタイルコースの授業「衣生活計画論」において、学校関係者へのアンケート調査や学生のアイデアを取り入れた新規な学校用体操着の開発を行うこととしました。企業からは、体操着市場の現状や、生地やデザイン等について情報提供を受けたうえで、中高生を対象とした体操着の機能性やデザインに関するアンケート調査を実施しました。



Step 3

アンケート調査の結果に基づき、中高生が体操着に求める機能性やデザイン性を考慮し、学生たちが新規の体操着のデザインを提案しました。これらの提案は、いずれも従来の常識的な体操着にはない斬新さがあり、同社にて試作が行われました。今後、商品化に向けた検討が進められます。



topics

本プロジェクトの成果は、「第3回大学コンソーシアム八王子 学生発表会」にて発表し、研究成果を広くアピールしました。その結果、展示発表部門の優秀賞を獲得し、学外からも評価を得ることができました。

data

- パートナー 株式会社レイバン
- 担当教員 富田弘美講師
(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2011年4月～2012年3月